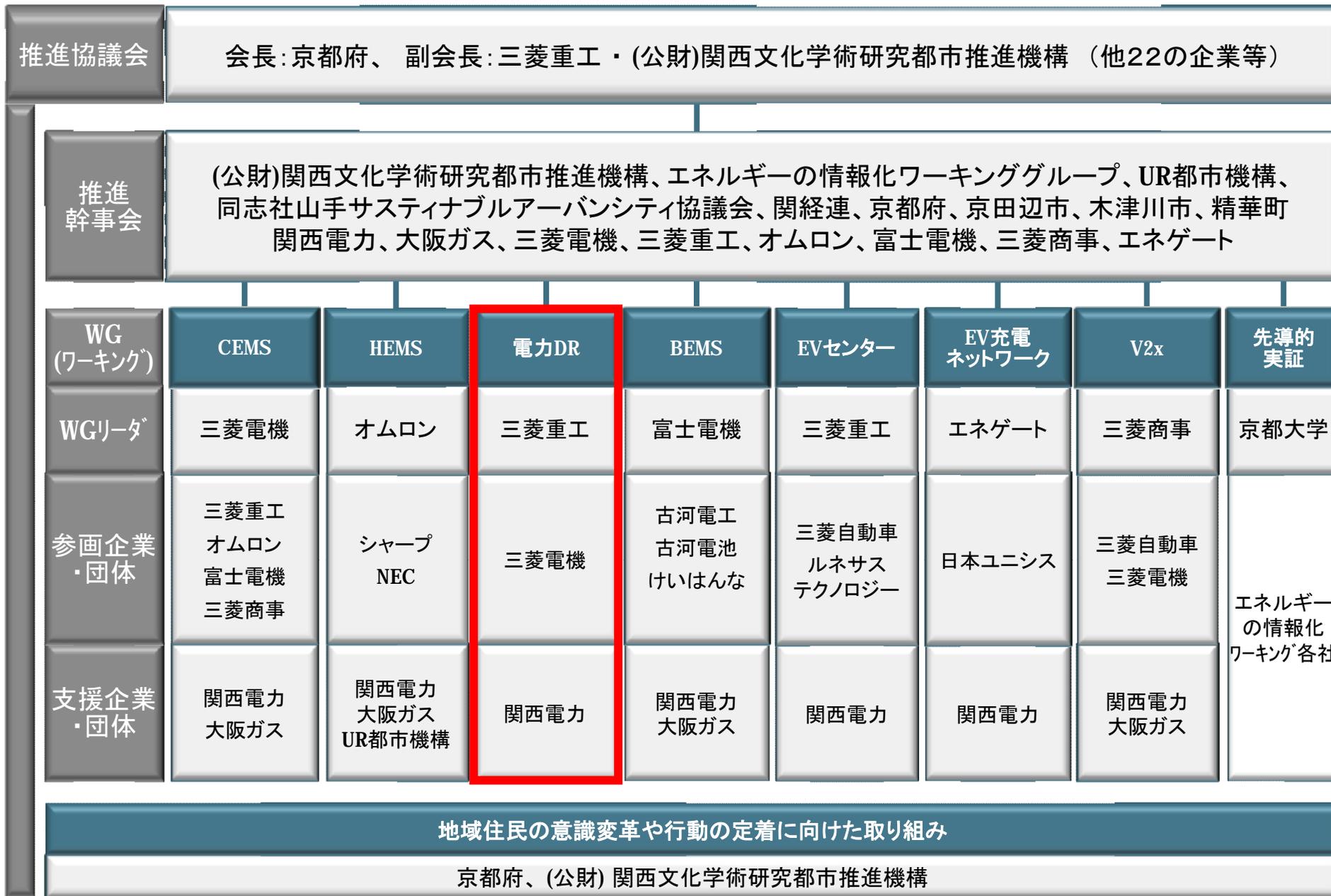


「電気のかしこい使い方プログラム」について

平成24年7月17日

「けいはんなエコシティ次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクト」推進体制

1



実証期間

- 2012年7月23日(月)～2012年9月28日(金)
(今冬以降の予定は、今夏の実証結果を踏まえ決定)

実証項目

○参加世帯を4つのグループに編成し、各種取組みによる効果の比較検証を実施。

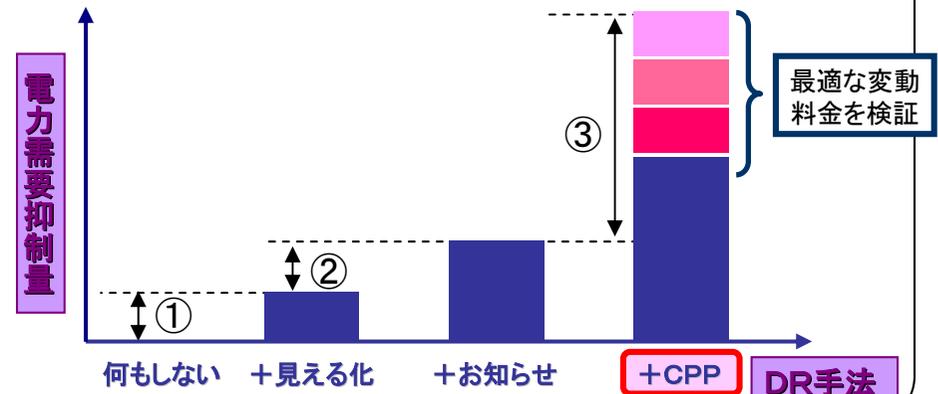
- * 全グループに、電気の使用状況を「見える化」
- * Bグループには、節電のお願いを「お知らせ」
- * C・Dグループには、ピーク時変動料金「CPP」(Critical Peak Pricing)を、正規の電気料金メニューとは別に擬似的な料金ルールにより実施



- ※1 前日までの電気使用量(1時間単位)と1日単位の電気料金(概算値)等の確認が可能【データ更新は平日に行われます】
- ※2 直前までの電気使用量(30分単位)の確認が可能
- ※3 C・Dは、今冬以降の取組みを分ける可能性があり分割している。

検証内容

- ① 電気の使用状況の「見える化」の効果はどの程度か。
- ② 節電のお願いの「お知らせ」の効果はどの程度か。
- ③ ピーク時変動料金「CPP」の効果はどの程度か。
(変動料金の最適価格はどの程度か)



実証環境の整備

- 参加者全戸に電気の使用状況等を確認できる「**タブレット端末**」を配布。
- 参加者全戸に「**スマートメーター**」を取付。

CPPの詳細実施内容

- 参加者各戸が電力会社と契約している電気料金メニューとは別に、擬似的な料金ルールを設定。
- 電気の使用量が多くなることが予想される日の電気料金を普段の日の電気料金より高額にし(CPP)、電気の使用量を抑制。

【擬似的料金ルール】

- ①参加者各戸に予め一定のポイント※1を配布。
- ②ピーク時間帯※2に電気を使用すると、その使用量に単価※3を乗じたポイントを、予め配布するポイントから減じる。
- ③実証期間(約70日)中の平日、毎日②を繰り返し行い、残ったポイントを参加者に配布。

※1 配布ポイント : 5,000P (追加の場合あり) [期間終了後、1P=1円に換算し配布]

※2 ピーク時間帯 : 平日 13時~16時 [土日祝日を除く]

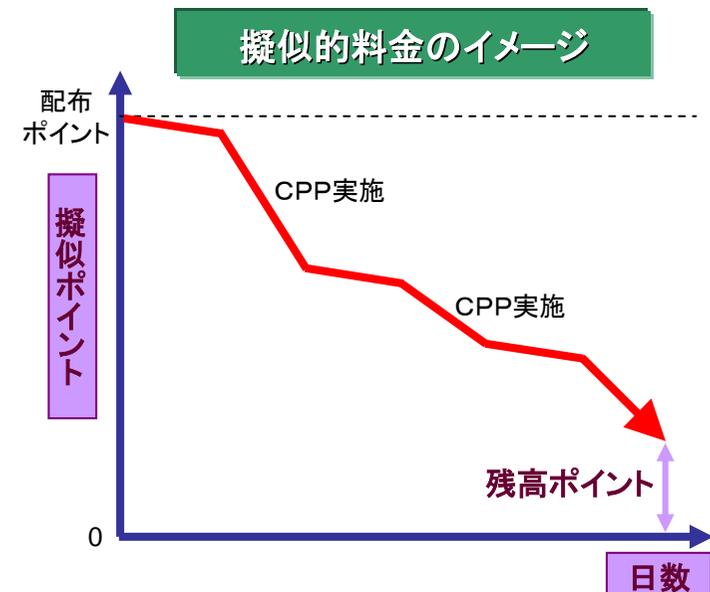
※3 単価

(1)通常平日:20P/kWh

(2)CPP実施日:通常単価の2倍、3倍、4倍

・CPPの実施は期間中15回程度を予定

・実施日は当日の気温が30°C以上となる任意の日とし、CPPの実施は前日にお知らせ





「ホーム」画面



「電気の使用状況」画面



「CPPによるデマンドレスポンス」画面



「ポイント残高」画面

タブレット端末



スマートメーター